

2025年
9月

複数社協賛型デジタルイベント

開発・運用

@IT Architect Live 2025 夏

～開発部門の価値を最大化するための3つのポイント～

(@IT Cloud Native Week × @IT 開発変革セミナー後継イベント)

開催日 : 2025年9月17日(水)～9月18日(木)

申込締切 : セッションプラン最終締切 : 2025年8月27日(水)

リストプラン最終締切 : 2025年9月11日(木)

運営 : アイティメディア株式会社

@IT Architect Live 2025 夏 開発部門の価値を最大化するための3つのポイント

システム開発の現場には多くの要求と期待が寄せられている。
AIをはじめとする先端技術を活用しながらそれらの要求や期待にどう応えていくか、コストセンターと思われないための手段とノウハウを明確化する。

※本イベントは、@IT開発変革セミナー、@IT Cloud Native Weekの後継イベントです。

主催	
開催日	2025年9月17日(水)~9月18日(木)
申込締切日	セッションプラン最終締切：2025年8月27日(水) リストプラン最終締切：2025年9月11日(木)
事前申込者数	約800名想定
想定視聴者属性	<ul style="list-style-type: none">ユーザー企業/Sierの開発部門長/担当者自社のビジネスを支えるシステム開発を担うユーザー企業の/担当者顧客のビジネス課題を技術で解決するITアーキテクト/ITアーキテクトを目指す方
主な協賛プラン	<ul style="list-style-type: none">プラチナプラン 380万円ゴールドプラン 280万円全リストプラン 270万円セッションリストプラン 200万円

視聴者の抱える課題

- 開発生産性・開発品質を向上させたい
- AI技術を自社のデジタルビジネスに生かしたい
- 開発関連のコスト・人的負担を軽減したい

テーマ

開催中止 | 品質とセキュリティ

キーワード：
クラウドネイティブセキュリティ
CNAPP
CSPM
CWPP
CIEM
KSPM
コンテナセキュリティ など

開催中止

セッション1 | 開発プロセスの効率化

キーワード：
開発生産性向上
AI駆動開発
コード生成
テスト生成
ローコード
DevOps
アジャイル など

セッション2 | AIアプリケーション開発

キーワード：
AIでビジネス価値創出
AIアプリケーション開発
AIEージェント
LLMOps
MLOps
エキスパートAI など

セッション3 | AIのためのデータプラットフォーム

キーワード：
Modern Data Stack
データプラットフォーム
クラウドネイティブデータベース
データ分析基盤
Observability
LLMOps
MLOps など

過去開催実績

- @IT 開発変革セミナー 2025 冬 : [開催報告書](#)
- @IT Cloud Native Week 2025 冬 : [開催報告書](#)



名称	開発変革セミナー2025 冬 ～スピード、コスト、品質、そして人材不足……問題山積みの開発現場を変革する道標～
開催日時	2025年3月18日（火）～3月19日（水） ※3月27日（木）までアーカイブ配信
対象	IT部門長、経営者、経営企画、社内情報システムの企画担当者、 開発・方針策定者など
主催	@IT
全申込者数	703人
視聴者数	573人
協賛 (※50音順)	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社エイチシーエル・ジャパン 株式会社NTTデータ先端技術 Tricentis Japan 合同会社 株式会社ベリサーブ 株式会社日立ソリューションズ・クリエイト

基調講演

基調講演1-1 高品質と高スピードの両立を支えるソフトウェアQA

テスト自動化研究会
井芹 洋輝 氏

※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年11月14日）

基調講演1-2 内製化は手段！ ～内製化の目的設定忘れてないですか？

GMOあおぞらネット銀行株式会社
執行役員 テクノロジー&プロセッシンググループ長
金子 邦彦 氏

基調講演2 ローコードツールと課題解決型学習で実現した地域の「観光DX」

公立千歳科学技術大学
情報システム工学科／特任教授
曾我 聡起 氏

※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年11月13日）

申込みページ

https://members05.live.itmedia.co.jp/library/ODIyNjk%253D?group=2503_DevRev2025W

開催報告書

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-04-08/2d24syv>



名称	@IT Cloud Native Week 2025 冬 「崖っぷちから這い上がる」クラウドネイティブの生かし方
開催日時	2025年3月12日（水）～3月13日（木） ※3月23日（日）までアーカイブ配信
対象	経営者、経営企画の方、社内情シスの運用・方針策定をする立場の方、情シス部門の企画担当者、運用管理者、開発部門、Slerなど
主催	@IT
全申込者数	544人
視聴者数	417人
協賛 (※50音順)	<ul style="list-style-type: none"> SB C&S株式会社 Cloudflare Japan 株式会社 Confluent Japan合同会社 双日テックイノベーション株式会社 Datadog Japan合同会社 HashiCorp Japan株式会社 パロアルトネットワークス株式会社 株式会社日立製作所
申込みページ	https://members06.live.itmedia.co.jp/library/ODlxMTc%253D?group=2503_CNW2025w
開催報告書	https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2025-03-30/2d23vyb

基調講演

基調講演1-1

クラウドネイティブで実現する、共通DBの課題解決～桃園の誓いアーキテクチャ～

株式会社マネーフォワード
マネーフォワードビジネスカンパニー BizOps本部
内西 功一 氏

基調講演1-2

今こそ取り組むクラウドネイティブ—コンテナだけではない、企業のデジタル競争力を高める実践アプローチ

一般社団法人クラウドネイティブイノベーターズ協会
代表理事
草間 一人 氏

※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年12月4日）

基調講演1-3

バンダイナムコスタジオでのクラウドネイティブゲーム開発環境の構築取り組み事例紹介

株式会社バンダイナムコスタジオ
技術スタジオ 第3グループ オンラインテクノロジー部
サーバーソリューションユニット DXセクション テクニカルディレクター
八重樫 剛史 氏

※講演内容は配信当時の情報となります。（配信日：2024年12月4日）

基調講演2-1

Scaling Security in the Cloud: メルカリが考えるクラウドセキュリティ

株式会社メルカリ
VP of Security & Privacy
Jason Fernandes 氏

基調講演2-2

DevSecOpsとAI活用

アジャイルコーチ
kyon_mm 氏

企画趣旨

@IT Architect Live とは

自社のビジネスを支えるシステム開発を担当するユーザー企業の担当者、および顧客のビジネス課題を技術で解決する開発者・ITアーキテクト向けのオンラインイベントです。

生成AIやクラウドネイティブなどの先進技術を活用し、ビジネスを発展させるためのソフトウェア開発をテーマに、イノベーション志向のコンテンツを提供します。

開催テーマ

開発部門の価値を最大化するための3つのポイント

システム開発の現場には多くの要求と期待が寄せられています。
AIをはじめとする先端技術を活用しながらそれらの要求や期待にどう応えていくか、
コストセンターと思われないための手段とノウハウを明確化します。

開催中止 セキュリティ

セクション 2

AIアプリケーション開発

セクション 1

開発プロセスの効率化

セクション 3

AIのための
データプラットフォーム

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

概要 品質×セキュリティを高めるためのアプローチ

スピード、変化対応力に加え、コスト削減を求められる現場が増えている中、限られたリソースでも社会や企業の発展に役立つ「**攻めの品質管理**」や**DevSecOpsのポイント**、ビジネスを継続し、事業に貢献するために知っておきたい**クラウドネイティブセキュリティの勘所**を説く。

基調講演案

開催中止

視聴者の抱える課題

- 今の品質保証体制の改善の仕方が分からない
- 開発、運用、セキュリティを連携させる方法が分からない
- アプリケーションの脆弱性を管理し、対応したい
- テスト自動化、テスト仮想化の実践方法が分からない
- テストコードを書く工数をどう減らせばいいか分からない
- ビジネスを継続し、事業に貢献するためにクラウド環境で何をどこまで守ればいいのか分からない
- クラウドネイティブな環境におけるセキュリティのポイントが分からない

キーワード

- | | |
|-------------------|-----------------|
| # クラウドネイティブセキュリティ | # DevOps |
| # CNAPP | # シフトレフト |
| # CSPM | # IDaaS |
| # CWPP | # 静的解析 |
| # CIEM | # 脆弱性管理 |
| # KSPM | # SBOM |
| # コンテナセキュリティ | # CI/CD |
| # APIセキュリティ | # テスト自動化 |
| # アイデンティティ管理 | # Observability |

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではございません。

概要 ビジネススピードを速める「開発プロセス」の効率化

ビジネス推進に不可欠なシステムの構築、展開ニーズは高まる一方、多くの企業は**エンジニア不足**に直面しており、リソース不足でビジネス推進が遅滞しかねない事態となっている。
エンジニアの新規採用も競争が激化しており、新たな確保も難しい状況だ。
今いる**人材や技術を最大限に活用し、効率的な開発プロセス**を構築するためのポイントを伝授する。

基調講演案

視聴者の抱える課題

- エンジニアが足りない
- 作りたいシステムがあっても、リソース不足で後手後手に回る
- 外注から内製に変えたいが、体制を作れない
- ローコードを活用したいが、LoB人材の教育方法が分からない
- 攻めどころか守りさえも不十分

キーワード

- # 開発生産性向上
- # AI駆動開発
- # コード生成
- # テスト生成
- # ローコード
- # DevOps
- # アジャイル
- # クラウドネイティブ
- # マイクロサービス
- # APIファースト
- # CI/CD
- # テスト自動化
- # 品質保証
- # 品質管理
- # コラボレーション
- # プロジェクト管理
- # 内製化
- # 内製化支援

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

概要 AIでどう稼ぐ？ 顧客満足度を最大化するための開発ノウハウ、ヒント

およそ全てのビジネスとITが直結する今、顧客接点となるシステムのユーザー体験、満足度の変化は自社の事業価値の向上／低下にも直結する事態となっている。

では、生成AIを活用することで、**ユーザー体験や顧客満足度の最大化**にどう寄与できるのか？

生成AIで稼ぐためのシステム開発のヒントを探る。

基調講演案

視聴者の抱える課題

- 生成AIをアプリケーションに組み込むことで得られるビジネスメリット
- 生成AIの活用方法
- 既存のアプリケーションにどう生成AIを組み込めばよいのか
- アプリケーションに生成AIを組み込む知識もノウハウもなく、ハルシネーションなど精度の問題とどう向き合えばよいのか
- どの生成AIサービスを選べばよいのか

キーワード

- # AIでビジネス価値創出
- # AIアプリケーション開発
- # AIエージェント
- # LLMOps
- # MLOps
- # エキスパートAI
- # AI活用支援
- # RAG
- # AI倫理とセキュリティ

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

概要 経営に寄与するデータ×プラットフォームの構築・改善の勘所

自社に蓄積された多種多様なデータを分析する手段として生成AIに注目が集まる中、大量のデータを利活用できる環境をどう構築、整備していけばよいのか。

ビジネス価値創出と効率的なデータ利活用を両立させるデータプラットフォームの構築、改善ノウハウとは。

基調講演案

視聴者の抱える課題

- 散在している膨大なデータの利活用、管理に向けたノウハウの不足
- リアルタイムにデータ分析をしてビジネスに活用したいが、できていない
- データ利活用のためのデータ基盤をどう整備・改善していけばよいか

キーワード

- | | |
|---------------------|---------------|
| # Modern Data Stack | # MDM |
| # データプラットフォーム | # データベース |
| # クラウドネイティブデータベース | # クラウドネイティブ |
| # データ分析基盤 | # Kubernetes |
| # Observability | # DataOps |
| # LLMOps | # データエンジニアリング |
| # MLOps | # DevOps |
| # ETL | |

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。また、登壇講師はご登壇をお約束するものではありません。

タイムテーブル

9月17日(水)

9月18日(木)

セッション1：開発プロセスの効率化

セッション2：AIアプリケーション開発
セッション3：AIのためのデータプラットフォーム

時間	枠時間	セッション1：開発プロセスの効率化	時間	枠時間	セッション2：AIアプリケーション開発 セッション3：AIのためのデータプラットフォーム
13:00-13:40	40分	基調講演1 (セッション1)	13:00-13:40	40分	基調講演2-1 (セッション2)
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション1-1 ご協賛企業決定 (セッション1)	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション2-1 DAY2-2-S201 (セッション2)
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2 ご協賛企業決定 (セッション1)	14:30-15:00	30分	スポンサーセッション2-2 DAY2-2-S202 (セッション2)
15:10-15:40	30分	スポンサーセッション1-3 DAY1-1-S103 (セッション1)	15:10-15:50	40分	基調講演2-2 (セッション3)
15:50-16:20	30分	スポンサーセッション1-4 DAY1-1-S104 (セッション1)	16:00-16:30	30分	スポンサーセッション2-3 ご協賛企業決定 (セッション3)
16:30-17:00	30分	スポンサーセッション1-5 DAY1-1-S105 (セッション1)	16:40-17:10	30分	スポンサーセッション2-4 DAY2-3-S204 (セッション3)

※スポンサーセッションが2社未満の場合は、タイムテーブル（開催日やセッション順）の調整、集客人数が変更になる場合がございます。
※ご協賛状況に応じて、開催日程を含めたタイムテーブルが変更になる可能性があります。

デジタルイベント協賛予約システム



ご協賛企業様、代理店様から直接デジタルイベントへのご協賛をお申込みをいただけるようになりました！
申込可能な協賛枠や企業様のご協賛状況をリアルタイムで視覚的に確認可能です
ご予約はこちらから▶ https://techlive-itmedia.resv.jp/direct_calendar.php?direct_id=45

ご協賛枠の予約受付完了までの流れ ※ 従来通り弊社営業担当経由でのご予約も可能です



カレンダーの見方



① ご利用ガイド

- 協賛を決定いただいたお客様
 - 順次入稿シートをご案内いたしますので、今しばらくお待ちください。
- 仮押さえ有効期限について
 - ステータスが仮押さえの枠の期限は、お申込みから14日間です。期限を超過すると枠は自動でキャンセルされます。
 - ひとつのイベントにつき、予約者が同時に予約できるのは最大で3枠までとさせていただきます。
 - 4枠目の予約を希望される場合は、すでに予約されている3枠のうち1枠をキャンセルしていただく必要があります。
 - 他の企業様がお申込み、仮押さえをされる可能性があります。必要数だけの仮押さえをお願いいたします。
 - 仮押さえから本予約へのステータス変更はシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。
- キャンセルに関して
 - キャンセルはお問い合わせフォームまでご連絡ください。担当者がご対応いたします。
 - イベント企画書に掲載のキャンセル規定に基づき、キャンセル料が発生する場合がございます。
- 予約の変更に関して
 - 予約完了後送られてくる予約受付メールに、URL、予約番号、確認コードの記載がございます。そちらからシステム上でおこなうか、お問い合わせフォームよりご連絡ください。

	セッションプラン		リストプラン	
	プラチナ	ゴールド	全リスト	セクションリスト
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	●	-	-
全申込者リスト (800件想定)	●	-	●	-
セクション申込者リスト (350名想定)	●	● (上限450名)	●	● (上限450名)
セッションアンケート	●	●	-	-
視聴者リード	●	●	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 (すべて税別・グロス価格)	¥3,800,000-	¥2,800,000-	¥2,700,000-	¥2,000,000-

※申込者数は想定値です。

※セミナー全体のセッションスポンサーが3社未満の場合、開催日程やテーマを縮小します。その場合、申込者数が想定を下回る可能性があります。

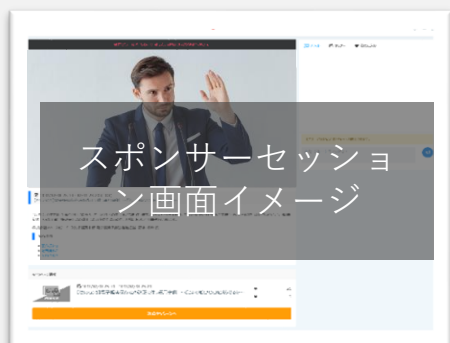
※各セクションのスポンサーが3社未満の場合、そのセクションの申込者数が想定を下回る可能性があります。

※開催規模を縮小した場合、協賛価格や提供物を調整することがあります。ご了承ください。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる。スポンサーセッション枠をご利用可能。



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者のリード情報をご提供。
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・従業員規模・年商規模・製品選定における関与など

| セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者のリード情報をご提供。
 - ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・従業員規模・年商規模・関与など
- ※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストが納品対象です。

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施。
 - 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせて自由に設定可能。
 - アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示。
- ※セッションアンケートの実施はLive配信時のみとなります

| 視聴者リード

- 貴社セッション視聴者のリード情報をご提供。
 - ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報
- ※アーカイブ開始後2日目までの視聴者リードが納品対象となります。

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など(BANT情報)等も合わせてご提供。
- ※アイティメディア側で設定のため個別設定不可。

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能。
- 講演間に表示する幕間スライドに貴社のロゴを掲載。

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能。
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能。

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供。
- 個人情報は含まない集計データでのご提供。

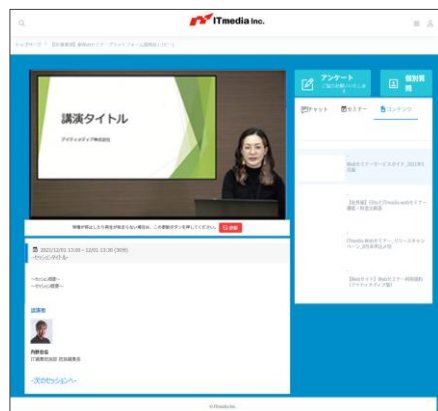
※画像はイメージです。

イベントで配信したセッション動画を二次展開し、さらなるリード獲得にご活用いただけます

**本イベント
セッション登壇付きプラン**

スポンサーセッションを通じて、当該テーマで情報収集中の読者に対し貴社メッセージを訴求いただけます。

▼スポンサーセッション配信画面イメージ



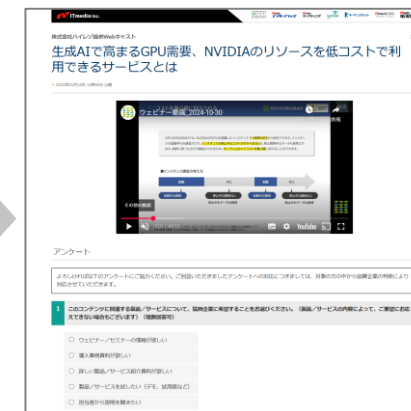
**セッション動画活用
リード獲得**

本イベントご講演動画1本+貴社ご所有の関連コンテンツ1~2本を弊社メディア内に掲載し、閲覧者のリードを提供します。(マスク化して設置し、閲覧時に個人情報提供の許諾を取得)

▼コンテンツ紹介画面



▼コンテンツ閲覧画面
(動画の場合)



※詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【例】

プラン名	プラチナプラン	セッション動画活用リード獲得
リード提供数	800件想定 ※イベントによって変動します	100件 ※ユーザー企業限定
料金 (税別・グロス価格)	¥4,800,000-	

オプションメニュー1

| 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供。
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます。

料金 **¥200,000~**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品。
- リードフォロー時の参考情報としてお役にたください。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

| 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn

料金 **¥200,000**

| リードカスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品。
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって料金は変動

料金 500件~ **¥100,000~**

| ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示。
- ショート動画の埋め込み。
- フローティングバナー情報掲載。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvv>

料金 **¥500,000**

| アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

料金 **¥2,500,000**

| テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数：50件~
- 期間：3~4週間（250件の場合）
- 1000件以上は不可。

料金 **¥75,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー2

セッション動画活用リード獲得

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン／キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-14/2czswgv>

料金 **¥300,000~**

レポート記事配信（ターゲットヘプッシュ型で配信）

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。（アーカイブ掲載あり）
- 業種、職種、企業名など狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

タイアッププッシュ ターゲティング & ABM 15,000通~

料金 **¥1,000,000~**

レポート記事掲載（広範に読者を記事へ誘導）

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多く閲覧しているメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 4,000PV保証

料金 **¥1,200,000**

セッションパンフレット作成（IT・ビジネス関連）

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載（2,000PV保証）
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

DXメディア横断 PV保証タイアップ 2,000PV保証
パンフレット制作（PDF/x納品）

料金 **¥1,200,000**

CM動画放映スポンサープラン

- 各基調講演（主催者セッション）開始前の待機時間に、視聴者に対して貴社支給動画を放映。
- イベント視聴者に対して、映像と音声を活用して自社サービスを繰り返し訴求することで製品やサービスの認知度向上につながります。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-08-05/2d122lq>

料金 **¥300,000**

パネルディスカッションパッケージ コンテンツ二次利用

- 弊社にお任せいただいたパネルディスカッションパッケージで作成したコンテンツを主催イベントに再利用。
- 通常30分間のスポンサーセッション枠を2枠ご提供。過去制作した60分間のコンテンツをそのままお届け。
- 新規でコンテンツ制作を行わずに更なるリード獲得が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-17/2czbqt5>

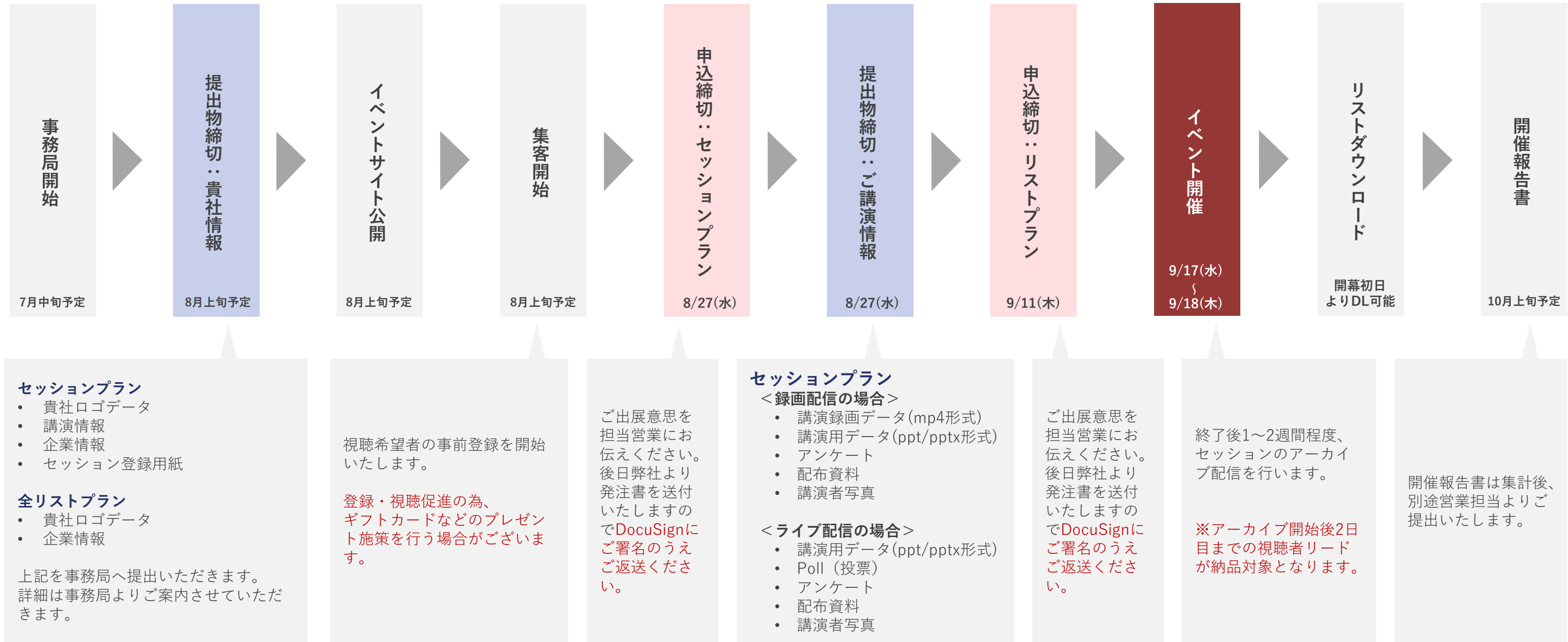
※価格・割引率をご協賛イベントによって変動いたします。

料金 **¥3,000,000**

※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

お申込みからの流れ

下記スケジュールは目安になります。状況によって変更になる可能性があります。開催決定後に確定したスケジュールをイベント事務局よりご連絡いたします。



※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書取り交わし後のキャンセル
登録用紙提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 契約金額の50%
開催日40日以内のキャンセル : 契約金額の100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

消費税につきまして

企画書のプランは税別表記のため、消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに中断（停止）してしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに中断（停止）してしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに配信が中断（停止）する場合がございます。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

- 総視聴者数に対し、視聴不良報告数が10%未満の場合
視聴者側の環境に起因する可能性が高いため、問い合わせに対して個別対応いたします。
- 総視聴者数に対し、視聴不良報告が10件単位で確認された場合
配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

@IT

“ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア

■ 媒体資料

<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2020-10-14/tlw6gn>

■ URL

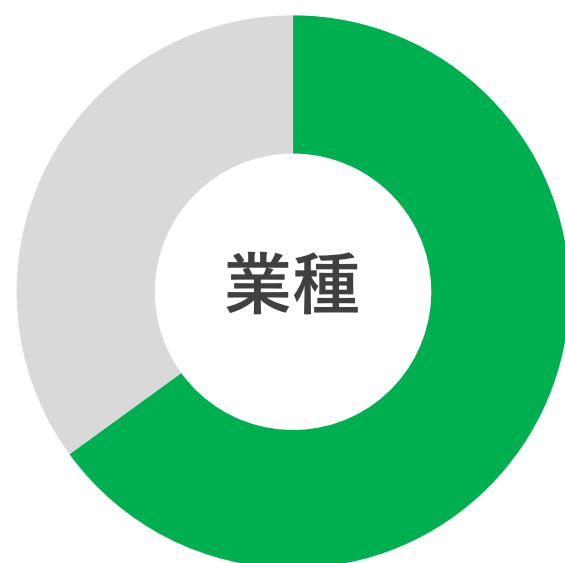
<https://atmarkit.itmedia.co.jp/>

■ PV

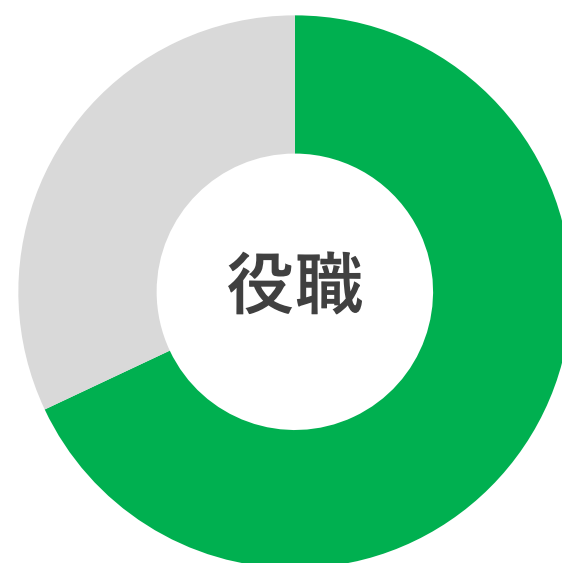
約770万 PV/月 約356万 UB/月 ※2024年8月実績

■メルマガ配信数

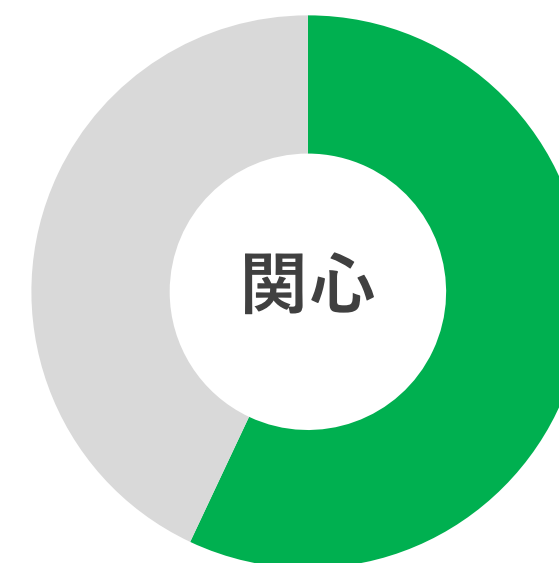
約57万通



ユーザー企業 約**65%**

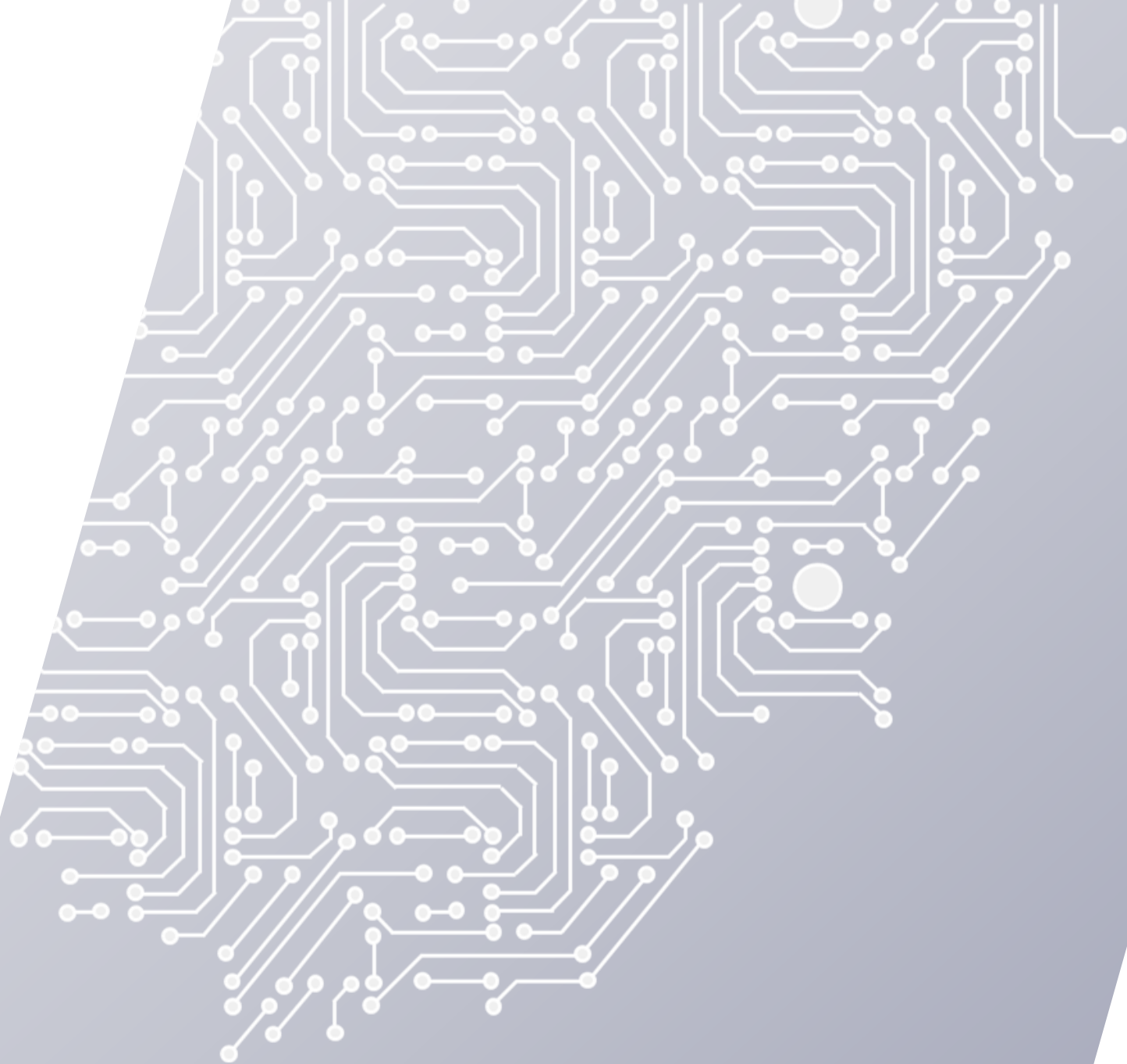


係長クラス以上 約**60%**



クラウドネイティブに
取り組み済み・関心あり 約**57%**

※@IT読者意識調査 2024年4月「クラウドネイティブ編」



デジタルイベントの最新情報はこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>



お問い合わせ

アイティメディア株式会社 営業本部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12
紀尾井町ビル 13階

お問い合わせフォーム：<https://promotion.itmedia.co.jp/contact>